

「平成 27 年度遺伝子組換え植物実態調査」直近 7 か年の調査結果の検証

1. ナタネ類

① 苫小牧港(北海道苫小牧市)

平成 27 年度は、飼料用トウモロコシ 427,876t の陸揚げがあった。輸入元国は、米国及びブラジルであった(財務省貿易統計)。

直近7か年の遺伝子組換えセイヨウナタネの生育地点は、図1及び図2のとおり、調査対象範囲においては、陸揚げ地点から3km 圏内の道路沿いであった。

近縁種については、図2のとおり、在来ナタネの生育していた年があった。

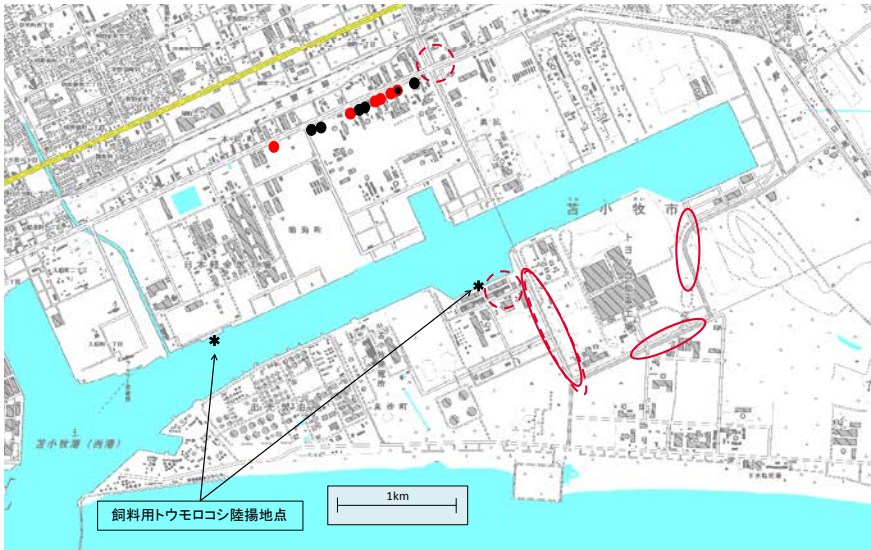


図1 H21-27 年度のセイヨウナタネ生育地点

記号	凡例
● (赤)	H27年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
● (黒)	H27年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
○ (赤)	H24~26年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
○ (黒)	H21~23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
調査未実施	H18~20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	飼料用トウモロコシの陸揚地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成 28 年情復、第 845 号)

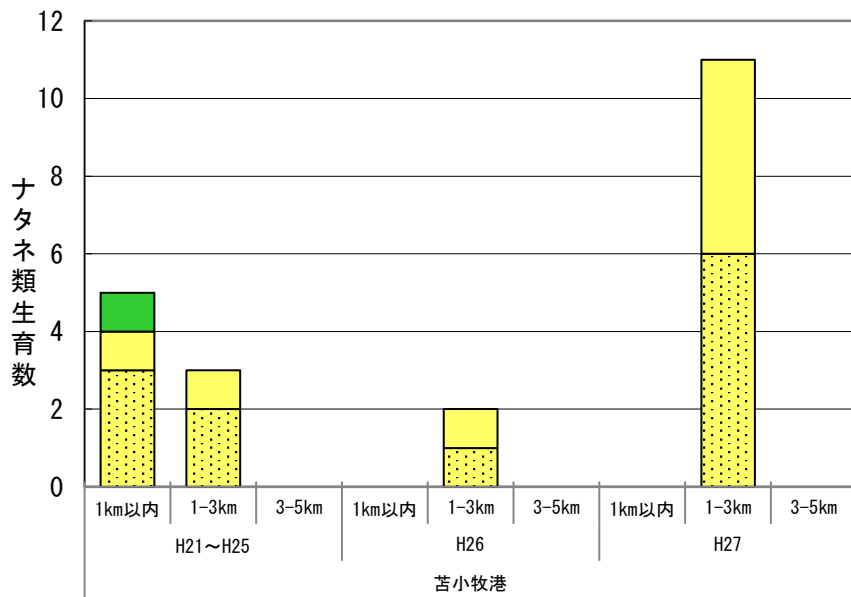


図2 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から1km 圏内、1km から3km 圏内、3km から5km 圏内を示す。H21-25 は平成 21 年度から 25 年度の平均値。

■ (緑)	在来ナタネ
■ (薄緑)	カラシナ
■ (黄)	セイヨウナタネ
■ (点黄)	うち遺伝子組換えセイヨウナタネ

② 八戸港(青森県八戸市)

平成 27 年度は、飼料用トウモロコシ 850,137t の陸揚げがあった。輸入元国は、米国、ブラジル及びアルゼンチンであった(財務省貿易統計)。

直近7か年の遺伝子組換えセイヨウナタネの生育地点は、図3及び図4のとおり、調査対象範囲においては、陸揚げ地点から3km 圏内の道路沿いであった。

近縁種については、図4のとおり、在来ナタネ及びカラシナの生育していた年があった。



図3 H21-27 年度のセイヨウナタネ生育地点

記号	凡例
● (Red)	H27年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
● (Black)	H27年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
○ (Red)	H24~26年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
--- (Red dashed)	H21~23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
調査未実施	H18~20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	飼料用トウモロコシの陸揚げ地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成 28 年情復、第 845 号)

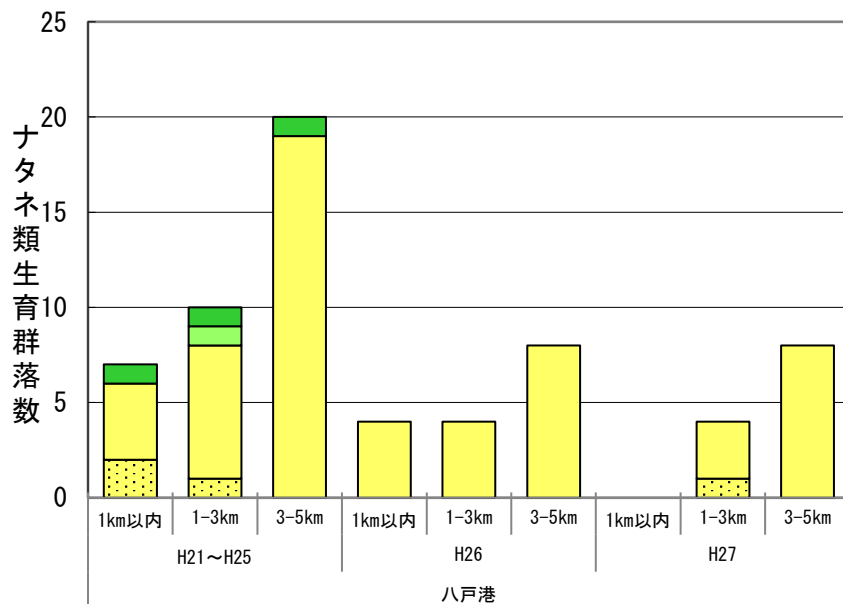


図4 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から1km 圏内、1km から3km 圏内、3km から5km 圏内を示す。H21-25 は平成 21 年度から 25 年度の平均値。

■ (Green)	在来ナタネ
■ (Light Green)	カラシナ
■ (Yellow)	セイヨウナタネ
■ (Yellow with dots)	うち遺伝子組換えセイヨウナタネ

③ 鹿島港(茨城県鹿島・神栖市)

平成 27 年度は、セイヨウナタネ 227,475t 及び飼料用トウモロコシ 1,398,775t の陸揚げがあった。主な輸入元国は、セイヨウナタネはカナダ、飼料用トウモロコシは米国、ブラジル及びウクライナであった(財務省貿易統計)。

直近7カ年の遺伝子組換えセイヨウナタネの生育地点は、図5及び図6のとおり、調査対象範囲内においては、陸揚げ地点から5km 圏内の道路沿いであった。

近縁種については、図6のとおり、例年、カラシナの生育していた。また、在来ナタネの生育していた年もあった。

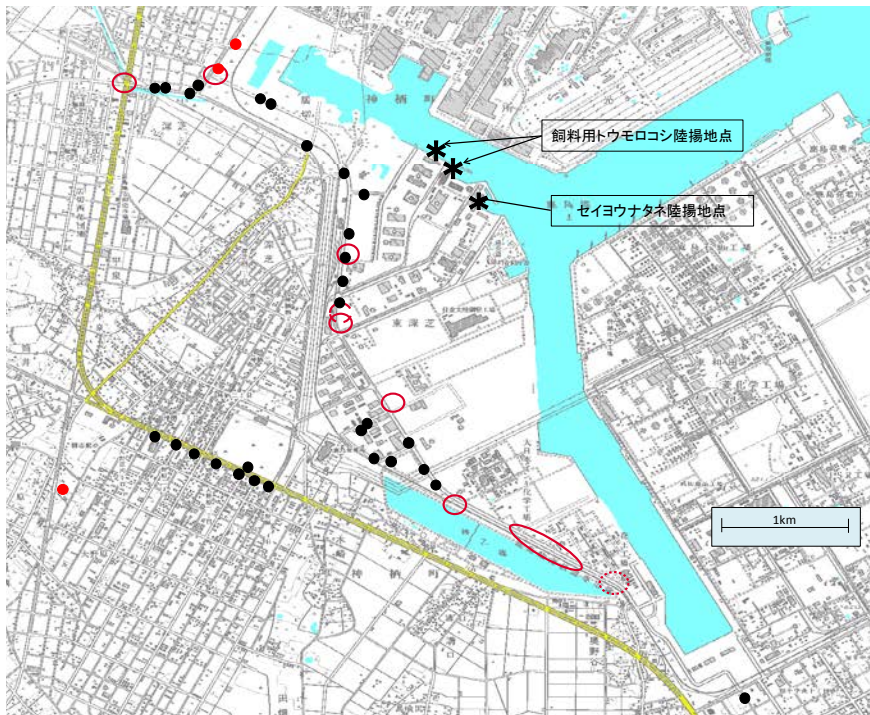


図5 H21-27 年度のセイヨウナタネ生育地点

記号	凡例
●	H27年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
●	H27年度非遺伝子組換えセイヨウナタネ
—	H24~26年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
---	H21~23年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
...	H18~20年度遺伝子組換えセイヨウナタネ
*	セイヨウナタネ・飼料用トウモロコシの陸揚地点

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平成 28 年情復、第 845 号)

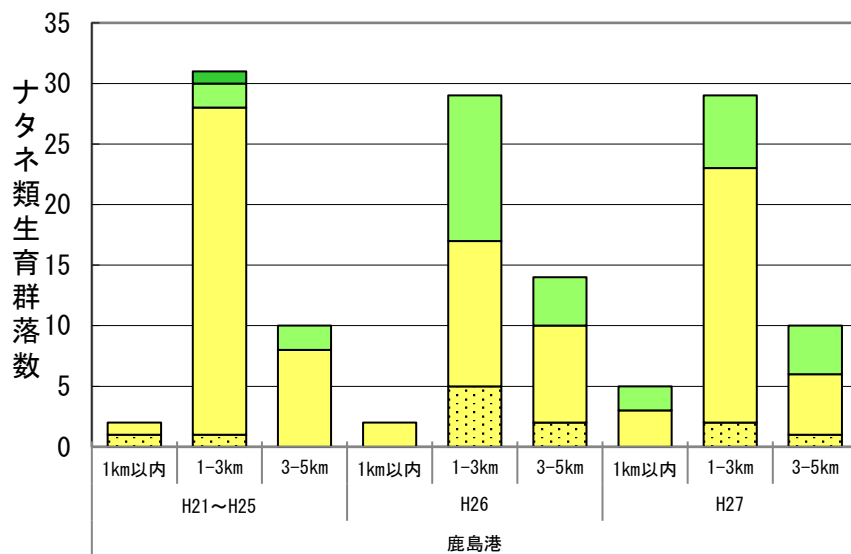


図6 距離別ナタネ類生育群落数

※各年とも、左から陸揚げ地点から1km 圏内、1km から3km 圏内、3km から5km 圏内を示す。H21-25 は平成 21 年度から 25 年度の平均値。

■	在来ナタネ
■	カラシナ
■	セイヨウナタネ
■	うち遺伝子組換えセイヨウナタネ